


ねらい	新入生の仲間づくり及びクラスのコミュニケーション促進		
教科・領域	特別活動	時間	110 分間
対象	高校 1 年生	人数	40 人
活動の流れ	活動名	概要	○留意点 ●指導者の視点
	心のゾーンチェック	○質問に対して、心の状態（安心／チャレンジ／パニック）を立ち位置で表し、お互いの感じ方の違いを知る。 	○質問項目 ・家でくつろいでいる時 ・分からない問題を当てられた時 ・初めて会う人と話す時 ・活動前の今の気持ち ●ペアを作るために自分から声を掛けているか、待っているか。 ●特定のメンバーとのみ関わっているか、自ら関わりを広げているか。 ●勝敗ではなく、関わりを楽しむ雰囲気があるか。 ●目標達成のため、クリアした人がどんな動きをしているか。 ●みんなでエラーを楽しむ雰囲気があるか。「キャッチ」の掛け声を言う一歩を踏み出せるか。
	じゃんけん ※アクティビティ集参照	○ペアでじゃんけんをし、あいこになったら成功。 ○ペアでじゃんけんをし、相手の出した手を「石・鉄・紙」のどれかで早く言い合う。 ○ペアでじゃんけんをし、ゲーム 100 円・チョコキ 20 円・パー 5 円として、たし算をする。 ○ペアで 1 回だけじゃんけんをし、あいこになったら成功。3 人とあいこになった人から輪になる。目標は全員クリア。	●みんなでエラーを楽しむ雰囲気があるか。「キャッチ」の掛け声を言う一歩を踏み出せるか。
	キャッチ ※アクティビティ集参照	○全員で輪になり、左手は上向き、右手は短いロープを持って、隣の左手の上に垂らす。「キャッチ」の掛け声で、左手はロープをつかみ、右手のロープは逃げる。	●エラーがあってもみんなで活動を楽しむことができているか。
	前後左右 （4 方向ジャンプ） ※アクティビティ集参照	○全員で輪になり隣の人と手をつなぐ。指導者が「前」と言ったら、全員で「前」と言いながら、一歩前に跳ぶ。「後ろ」「右」「左」を含め、ランダムにテンポよく繰り返す。	○接触を避ける場合は、手をつなぐ代わりに短いロープを持ち合う。 ○慣れてきたら、①言われたことと逆の言葉・動作、②言われたとおりの動作・逆の言葉等のバリエーションを試す。 ●エラーがあってもみんなで活動を楽しむことができているか。
	見えない共通点 ※アクティビティ集参照	○4、5 人のグループで話し合っ て全員の共通点（目に見えないもの）を見つける。それぞれのグループで見つけた共通点の数や特徴的な共通点について紹介し合う。	○共通点を見つけることで親近感がわく（類似性の法則）。一方、違いからコミュニケーションが深まり、発見や学びにつながる。
2 匹のへび ※アクティビティ集参照	○2 匹のへびが輪になっている絵を見ながら、4、5 人のグル	●全員が意見を出し合っているか、一部の人のみが	

	<p>宇宙人の卵 ※アクティビティ集参照</p> <p>心のゾーンチェック</p>	<p>ープでその後の展開について話し合う。全体で出たアイデアを紹介し合う。</p> <p>○3～4人の小グループを作り、各グループに新聞紙4枚、ゴルフボール1つ、セロテープ約1mを渡す。制限時間内に、新聞紙を使ってゴルフボールを床から50cm以上の高さに固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セロテープは新聞紙同士を接着する場合にのみ使える。</li> <li>・椅子や壁等は使えない。</li> <li>・うちわであおいでも倒れないような強度をめざす。</li> </ul> <p>○活動後の心の状態(安心/チャレンジ/パニック)を立ち位置で表し、活動前との変化を確認する。</p>	<p>出しているのか。</p> <p>○全員が意見を出しやすい聞き方について考えるきっかけとする。</p> <p>●課題達成のために、どのようなアイデアを出し合い、どのように合意形成を図ったか。</p> <p>○ゴルフボールを固定する高さや使えるセロテープの長さで難易度を調整する。</p> <p>○活動中のどんな要素が変化につながったかを振り返る。</p>
<p>振り返り</p>	<p>○活動前と活動後で心の状態がどのように変わったか。どんな出来事がその変化につながったか。</p>		
<p>準備物</p>	<p>短ロープ、ペン、用紙、ストップウォッチ、「2匹のへび」の絵、新聞紙、ゴルフボール、セロテープ、うちわ</p>		
<p>参加者の様子や感想</p>	<p>○元気の良い生徒が引っ張る形で、エラーがあっても笑い合って、全体で楽しむ雰囲気が生まれていった。</p> <p>○コミュニケーションに控えめな生徒も、グループ活動を繰り返す中で、徐々に自分の意見を伝え始め、グループでの課題達成に貢献していた。</p>		
<p>指導に係る気付き</p>	<p>○生徒数が多く活動への意欲も個々によって差があったため、一人ひとりが積極的に他者と関わられるように、グループでの課題解決を中心に活動を組み立てた。</p>		